

平
屋
建



定山溪学園 新築ほか工事

造

01



事業の概要

定山溪学園の工事は、老朽化した定山溪小学校を定山溪中学校の敷地に移転し、義務教育学校（小・中学校一貫校）として新しい校舎を整備することを目的としています。新校舎は、学校建築ではめずらしい木造（一部鉄筋コンクリート造）平屋建てで、環境に配慮した温かみのあるデザインが特徴です。



建築工事課のお仕事



ー基本設計・実施設計ー

新築工事では、複数の設計会社からの業務提案書をもとに設計会社を選定します。設計中は設計会社と密に連携し、設計の各段階での進捗確認や図面等の確認・承認を行い、必要に応じて修正指示を出します。

ー新築工事・解体工事ー

新築工事・解体工事では、担当職員が監理者（設計会社）や工事業者と協力し、進捗、品質、安全、予算、スケジュールを管理します。問題が発生した場合は、迅速に対応します。

2021

2022

2023

2024

2025

開校

2026

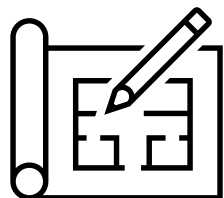
Apr.

step

01



基本・実施設計

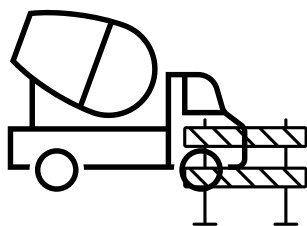


step

02



校舎新築ほか工事

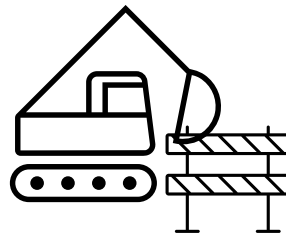


step

03



旧校舎解体工事



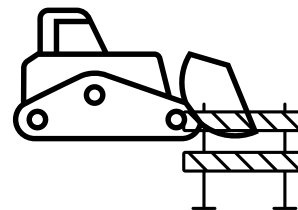
step

04



グラウンド整備工事

※別部署発注



02



新校舎の概要

所在地 南区定山溪温泉西1丁目30番地

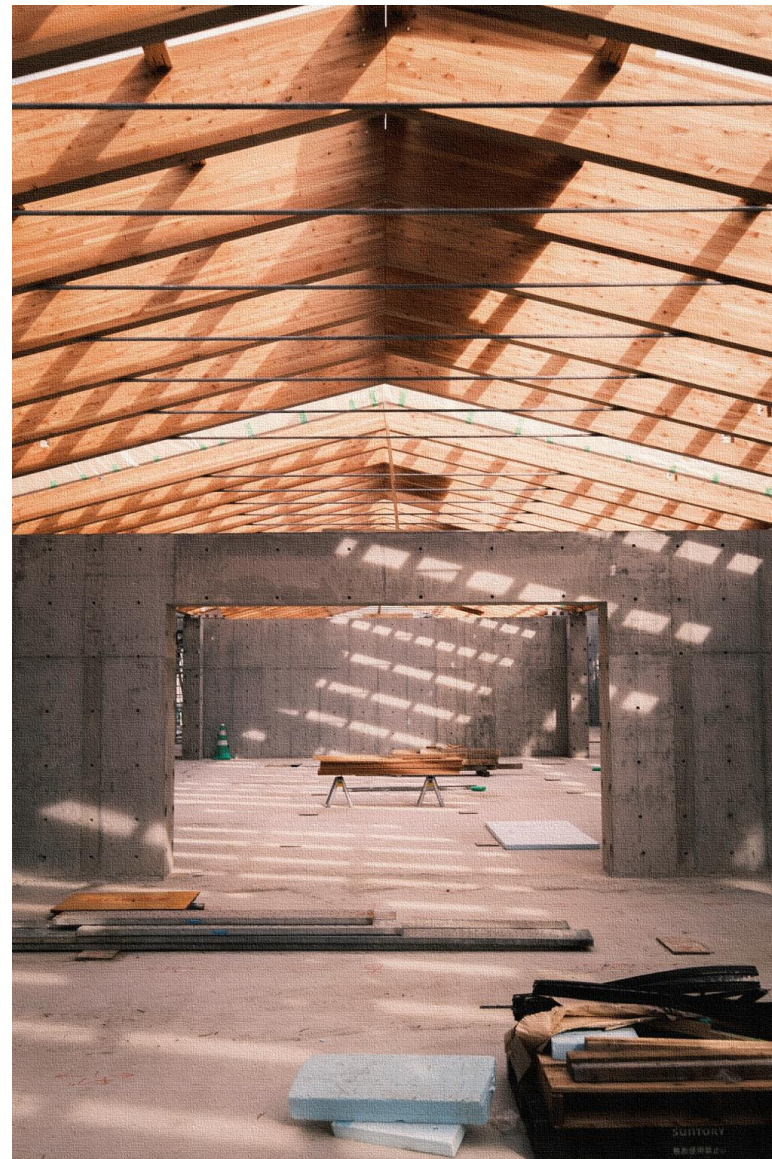
工事業者(建築) 岩倉・山崎特定共同企業体

設計会社(監理) 株式会社アトリエブंक

工事期間 令和5年10月～令和7年2月

延べ面積 約4,460㎡

用途 ①校舎 ②児童会館 ③郷土資料館





樹木伐採・伐根 先行解体



冬季休業



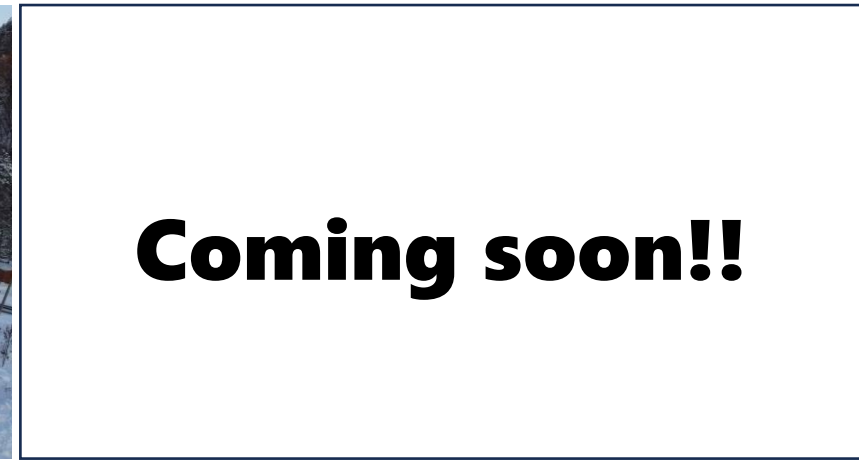
土工事 地業工事



木軸工事



内外装工事



完成！

03



校舎新築工事の工程

04

新校舎外部イメージパース



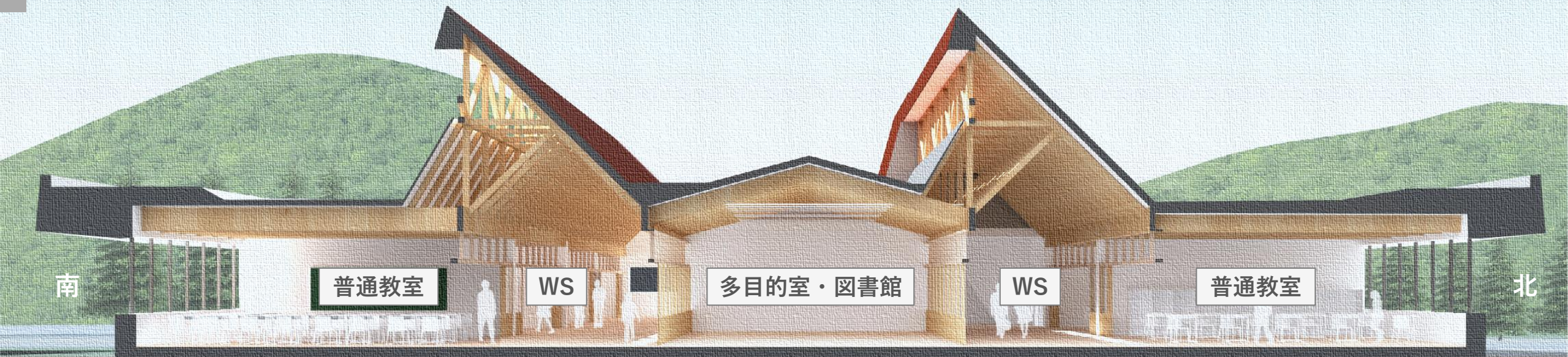
建築工事課のお仕事

新しい校舎の外観色は、札幌市の美しい景観を守るための景観70色から選ばれます。
この中から担当職員と設計会社がその地域の景観にふさわしい外観色の候補を考え、教育委員会の職員とともに検討、最終決定します。

05



新校舎内部イメージパース



校舎の内観は北と南に普通教室を配置し、ワークスペース（WS）を挟んで中央に多目的室・図書室があります。
ワークスペースにはハイサイドライト（高窓）を設け、自然光を取り入れる計画としています。

※ワークスペース（WS）…個別学習やグループワークなど多様な学習形態に対応するために設計された、幅約4～5mの廊下兼多目的スペースです。



WSから南側の普通教室を見る



普通教室



図書室



北側WSから見た多目的室

point

01 定山溪地域の美しさを引立てるデザイン

校舎は平屋建てにすることで、周囲への圧迫感を抑え、北側の山の眺望を確保しています。

また、外装には自然と調和する赤褐色や焦げ茶色を採用し、周囲の自然環境と一体感を持たせています。

point

02 ゆとりと変化のある空間構成

ワークスペース上部のハイサイドライトから自然光を取り入れて開放的な空間を演出しています。

校舎の内観は、南北の普通教室と中央の図書室・多目的室に開放性の高い建具を使用し、一体的な空間としての利用が可能となっています。

point

03 木の温もりが感じられる空間

札幌市産の木材や北海道産の木材をふんだんに使用しています。例えば、校舎と郷土資料館の柱には、札幌市の白幡山で採れたカラマツを使用し、子どもたちが木の温もりを身近に感じられる建物となっています。

06

新校舎のこだわりポイント

07



工事の様子

Coming soon!!

建築工事課のお仕事

工事期間中、担当職員は工事業者、監理者（設計会社）、学校と週1回の定例会議を行います。定例会議では、学校行事と工事のスケジュール調整や、学校から内装の素材や建具の色などの要望を聞き取り、工事業者と監理者からの専門的な助言を受けながら、要望をかなえるためのサポートを行います。

また、会議終了後には工事現場の進捗状況を確認するための現場視察を行い、工事が順調に進んでいるかどうかを確認します。

08



施工者インタビュー

Coming soon!!



09 現場見学会の様子

建築工事課のお仕事

現場見学会は、工事の進捗状況や施工方法などを工事課職員や別部署の建築職などに知ってもらうためのイベントとして開催します。現場見学会では、担当職員や工事業者から施工方法や使用材料などについて説明が行われます。建設途中の現場を見学する際には、安全対策として、安全靴やヘルメットなどの保護具を必ず着用します。



10



新 校 舍 完 成

Coming soon!!